

名古屋大須ロータリークラブ

<本年度会長方針>

リノベーション renovation

WEEKLY REPORT No.1214

ロータリーを
実践し



みんなに
豊かな人生を

承認 1985年2月12日 例会日 木曜日 12:30 例会場 名古屋東急ホテル
会長 木村 光徳 事務局 名古屋市中区栄4丁目6番5号 丸越ビル6F
幹事 渡辺 観永 電話 (052)251-0181 FAX (052)251-0337 〒460-0008
URL <http://www.nagoya-osu.org> E-mail office@nagoya-osu.org

第1425回例会

ロータリーを
実践するための準備期間
平成25年7月18日(木)
於名古屋東急ホテル

出席計算数
54名中39名出席
出席率 72・22%
前及前回出席率 90・57%

出立者 62名

例会プログラム

★13-14年度地区大会PR
名古屋昭和RC

会長 大矢 英憲さん

★宇野新世代奉仕副委員長

・派遣青少年交換学生について

★卓話 委員長所見

- ・社会奉仕委員長
- ・国際奉仕委員長
- ・30周年実行委員長

ロータリーソング

「我等の生業」

指揮者 前田 隆久
ピアノ伴奏 富坂 玲子

ゲスト

岐阜ネパール会

会長 筋田 雅則さん

筋田雅則さん同行者 ミナさん

ピクチャー

名古屋昭和RC 大矢 英憲さん

ニコボックス

11月23・24日開催致します地区大会のPRに伺いました。多くの登録をお願いします。

名古屋昭和RC 大矢 英憲さん

筋田さん、ミナさん、大矢さん ようこそお越し頂きました。

木村 光徳

大矢さんようこそ。 渡辺 観永

岐阜ネパール会の皆さん、ようこそ。

堀江 英弥

委員長所見楽しみにしています

鬼頭 茂成・高木 政義

丹下さん、委員長所見楽しみにです。

岩崎 征一

会長挨拶

今日先週に続いてオーストラリアについてもう少し話しをさせて頂きます。

オーストラリアの首都はキャンベラですが、首都を決める時にシドニーとメルボルンがどちらも強硬に譲らなかつた為仕方なく、屈間点に人工的に造つた街です。大都市で唯一沿岸部ではなく、内陸に在ります。

次にオーストラリアの物価ですが、日本人旅行者にとっては、その時のオーストラリアドルのレートにより大きく変動します。先進国の中では金利が高く、投資対象通貨として人気が高い為、世界の経済状況により、変動幅が大きくなるからです。実際に私の経験でも一番安い時が1ドル80円、高い時が105円でした。8円ですと物価は日本の半分位の感覚です。現在は100円前後ですので、日本よりの割増安いのではないかと

思います。

最後には是非触れて置きたいのが

世界で一番安全な国であるという事です。人口当りの犯罪発生率が世界の大都市で一番低いのがメルボルンでシドニーも第3位に入っています。実際に私の体験でも、街や盛り場を夜一人で歩いていても、危ないとか恐いと感じた事は1度も有りませんでした。又日本人にも大変友好的で女性だけのグループや子供連れの旅行には、最適な国の一つと言つ事が出来ると思います。

社会奉仕委員長所見

丹下 富博



本年度の社会奉仕委員長を仰せつかりました丹下で「やいま

す。所見を述べさせて頂きます。

さて、本年度の社会奉仕委員会のメンバーは、私と副委員長で環境保全担当の近藤 宏一郎さん、小笠原和俊さん、荻原賢一さん、田崎雅三さん、林 富徳さんの6名でスタートしています。

まず、方針ですが、社会奉仕に関する声明は「社会奉仕は、ロータリー一人ひとりが『超我的奉仕』を實踐する機会である。地域

の住む人々の生活の質を高め、公共のために奉仕することは、すべてのロータリアン個人にとってもまた、ロータリークラブにとっても献身に値することであり、社会的責務でもある」と1992年に採択されました。この採択当時と現在の社会奉仕の一番の違いは、当時はロータリークラブが他団体の後方支援をして成果は寄付をした団体のものでありましたが、現在ではロータリークラブが積極的に表に出て、地域社会にロータリーをブランドとして認知していただくという方向性となっています。

本年度は当クラブの30周年記念事業が開催されますので、当委員会としても30周年実行委員会に対して協力・連携していきながら、ロータリーを全面に出して地域社会に対して貢献していきたいと思ひます。

社会奉仕活動は、大きく分けて4つのコンセプトがあると思ひます。一つ目は「人間尊重」、二つ目は「地域発展」三つ目は「環境保全」そして、もう一つは「協同奉仕」であります。

今年度の当委員会の活動に当てはめてみますと、「人間尊重」は「老人施設への慰問」「ボランティア情報誌発行事業への支援」や「歳末助け合い、交通遺児支援などの各種寄付金活動」、「地域発展」『環境保全』については「OSU

山桜フィールド」での協力など、さらには『協同奉仕』は大須小学校でのネパール小学生との交流への協力など、多くは30周年記念事業に関わっています。

また今年度は、今まではじまっていたのですが、あつこい間の一年となりそうです。どうか皆さん、引き続きまして、社会奉仕委員会にご指導し協力をお願い申し上げます。

国際奉仕委員長所見



本年度国際奉仕委員会はNTTの石田さんが退

会され、神野副委員長、尾上先輩、佐々木先輩の4名で構成されています。入会以来5回の国際奉仕委員会を経験させていただきました。05年には委員長を仰せつかり、その当時の青少年交換学生のお世話や、地区内での留学生の活動支援以外にも、国際交流として台湾のロータリークラブとの姉妹提携を考え、亡くなられた新沼さんや佐藤さん、川畑さんなど上下打合せに台北まで出かけたことを記憶しております。

しかしながら、その中心であり

ました青少年交換活動は、新世代委員会へ移管、もう一つの柱のWCS活動は、Rより廃止の通達で形を変えてグローバル補助金活動へ移りました。また、国際支援活動は、当地区でもフィリピンでの活動で支援金が消えてしまった例がありますように不透明な部分があり、Rとしてはまとめてプロジェクトを組み、検証を常にしていけるように推奨している次第で、単独クラブでの実施は少なくなりました。現状地区全体ではラオスの支援事業に続き、台湾花蓮の特殊学級への支援を展開、チェックをしている状況とのことです。

但し、名古屋大須ロータリークラブとしては、30周年記念の事業としてネパールカトマンズヘンソーシステムを寄贈、現地の小学校と、大須小学校との交流を推進するところになり、当委員会もその事業を30周年委員会と共に推進していく所存であります。

地区としては、海外出張時の海外例会への参加や姉妹クラブとの活動を推進しております。当クラブの姉妹的なクラブは、米国内のトランドのクラブですが、現在は全く交流がない状況であります。新しい会員の方は、そんなクラブがあること自体に存しない方もあるのではと思われれます。そんな中で私個人的には、できれば再度台湾の訪問したクラブなどと交流が

できればと思つ次第であります。また、会長の前回のご挨拶にもありましたように、今年度はシドニーでの国際大会であります。以前のように、出かけたいためです。これは、今後委員会で討議をして発表してまいりたいと思っておりますのでご支援賜りますようお願い申し上げます。

30周年実行委員長所見



堀江 英弥 本年度30周年実行委員会委員長の堀江英

弥です。一年間お付き合いをお願い致します。いよいよ30周年を迎える年になりました。名古屋大須ロータリークラブにとって、30周年事業として何が相応しいか、準備委員会を設け2年掛け検討してまいりました。今年が実行年度です。記念例会の開催と将来を見据えた二つの奉仕活動を皆様と一緒に、地域に・世界に向かって行っていきたいと思います。

名古屋大須ロータリークラブが1985年に創立され、今年度は

30周年を迎えることとなります。楽しいことや厳しかったこと数々の思い出が有りましたが、30周年を迎えるに当たり、クラブのすばらしい歴史をつなげていくためにも、シンプル・スマート&スマイルをコンセプトに記念事業を会員一人ひとりの全員の方で開催し、会員相互の親睦・友情をより一層深め、地域社会に貢献できる継続可能な奉仕活動を行います。

また、過日3グループに分かれアンケートのご意見をいただきましたが、今後は各委員会を通じて更なるご協力をお願いいたします。

計画

1.30周年記念例会の開催

30周年記念例会を、平成26年2月12日(水)午後6時30分、名古屋東急ホテルにおいて、ご来賓・ゲストをお招きしてメンバー全員で名古屋大須RCがRから加盟認証を受けた日を祝して記念例会を開催致します。また記録誌も29年の歴史を30周年終了までに作成し皆様へ配布致します。

2.OSSU山桜フィールドの整備

世界で生物多様性や環境保全の必要性が叫ばれる昨今、豊かな自然を守るためにも、日本人の心のどこかに宿る、また、平和のシンボルもある桜をテーマに、自然との共生・生物多様性・青少年育成などの観点に国際奉仕事業とコラボ

しながら息の長いOSSU山桜フィールド整備を猿投の森づくりの会と共同で行います。11月22日に山桜フィールドと大須地区との関わりの証しとして大須観音境内に山桜の植樹を、同日大須小学校の森の展覧会に協力しネパール小学生との国際交流を行います。

3.ネパールにおける国際奉仕活動

国際奉仕活動は今回近代化からさますと取り残されようとしている最貧国のひとつ、ネパールの子供たちに目を向けて、電気のない地区に現地ボランティア活動をされている方とともに、太陽光発電装置設置や文房具・図書などの寄贈を行い、メンバーも11月13日~17日に現地を訪問して国際友好を行います。また11月22日は大須小学校の児童とネパールの子供たちとコンピュータ回線をつなぎ対話し互いの国際視野を広げる国際交流を行います。

8月1日(木) 例会の案内

親睦夜間例会
ネパールナイト!

於ムカルパレス本店
受付18時00分 例会18時30分

広報委員会

- 小澤 幸男・青木 靖高
飯田 昭夫・杉浦 令淑
*本文は、原則、頂いた原稿を転載しています。